

瀬戸内市立市民病院及び牛窓診療所に関する
アンケート集計結果報告書

平成 22 年 1 月

瀬戸内市

目 次

第1章	調査概要	1
第2章	調査結果	
問1	過去1年間の受療経験	2
問2	診療を受けた（受けている）診療科目	4
問2	病院等の場所	6
問2	通院（通うこと）の困難さ	7
問3	過去1年間に瀬戸内市立市民病院または牛窓診療所で診療を受けた経験	8
問4	瀬戸内市立市民病院または牛窓診療所で診療を受けた診療科目	9
問5	瀬戸内市立市民病院または牛窓診療所で診療を受けた理由	10
問6	瀬戸内市立市民病院または牛窓診療所で診療を受けていない理由	11
問7	今後、市民病院または牛窓診療所を更に改善するために必要と思うこと	12
問8	今後の市民病院の診療機能と操出金について	14
問9	市民病院の建て替えについて	17
問10	民間委託によって変わると思うこと	20
問11	あなたご自身のこと （性別、年齢、居住地域、家族構成、職業等、主な移動手段）	21
第3章	自由意見の主な項目	26

第1章 調査概要

1. 調査の目的

市民に地域医療に関する意向を調査することにより、今後の病院事業の将来のあり方を決定する参考資料とする。

2. 調査の設計

(1) 調査対象

対 象	内 容	対象者数
瀬戸内市民	平成21年11月1日現在で18歳以上の瀬戸内市に住民票のある市民から無作為抽出	2,000人

(2) 調査方法及び調査時期

調査方法は郵送による配付、回収。

調査時期は、平成21年11月13日から11月30日まで。

3. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000	915	45.8%

4. 報告書を読む上での注意事項

- (1) グラフ中の「N」はその項目における回答者を合計した実数値であり、比率算出の基数となる。
- (2) 比率については小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率が0.05未満の場合には0.0で表している。また、この四捨五入のため各比率の合計が100%に合致しない場合がある。
- (3) 複数回答を求めた質問では、回答者数を基数として比率算出を行っているため、比率計は100%を超える。
- (4) グラフ中の「不明」はその設問における無回答者および無効回答者の意味である。
- (5) クロス集計の計は、クロス項目の不明を除いているため単純集計の計とは一致しない。

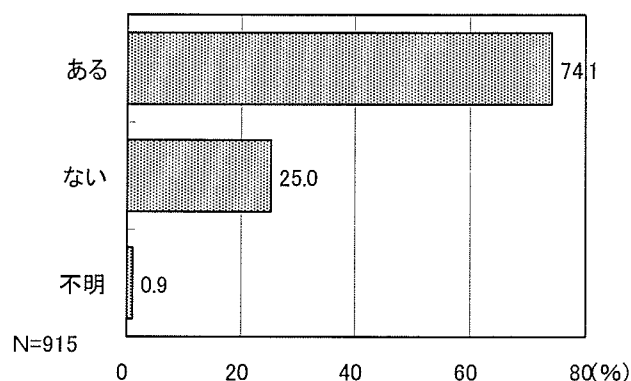
第2章 調査結果

医療機関での受療についておたずねします。(人間ドックや検査は含みません。)

問1 あなたは、過去1年間に医院・診療所や病院などの医療機関(歯科を除く。)で診療を受けたことがありますか。(現在、通院している人を含みます)(回答の○は1つだけ)

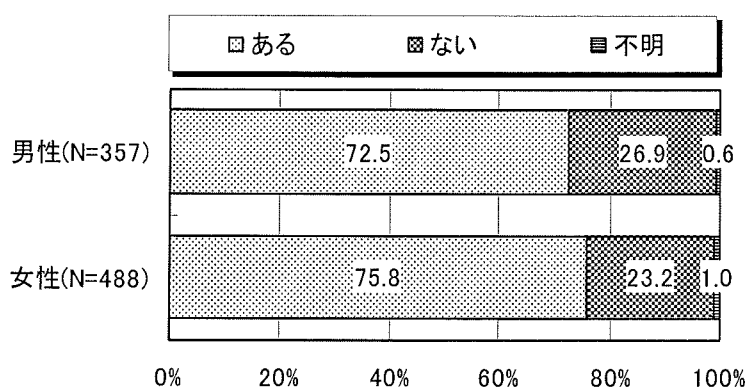
■全体

過去1年間に医院・診療所や病院などの医療機関(歯科を除く。)で診療を受けたことがある人は、74.1%である。



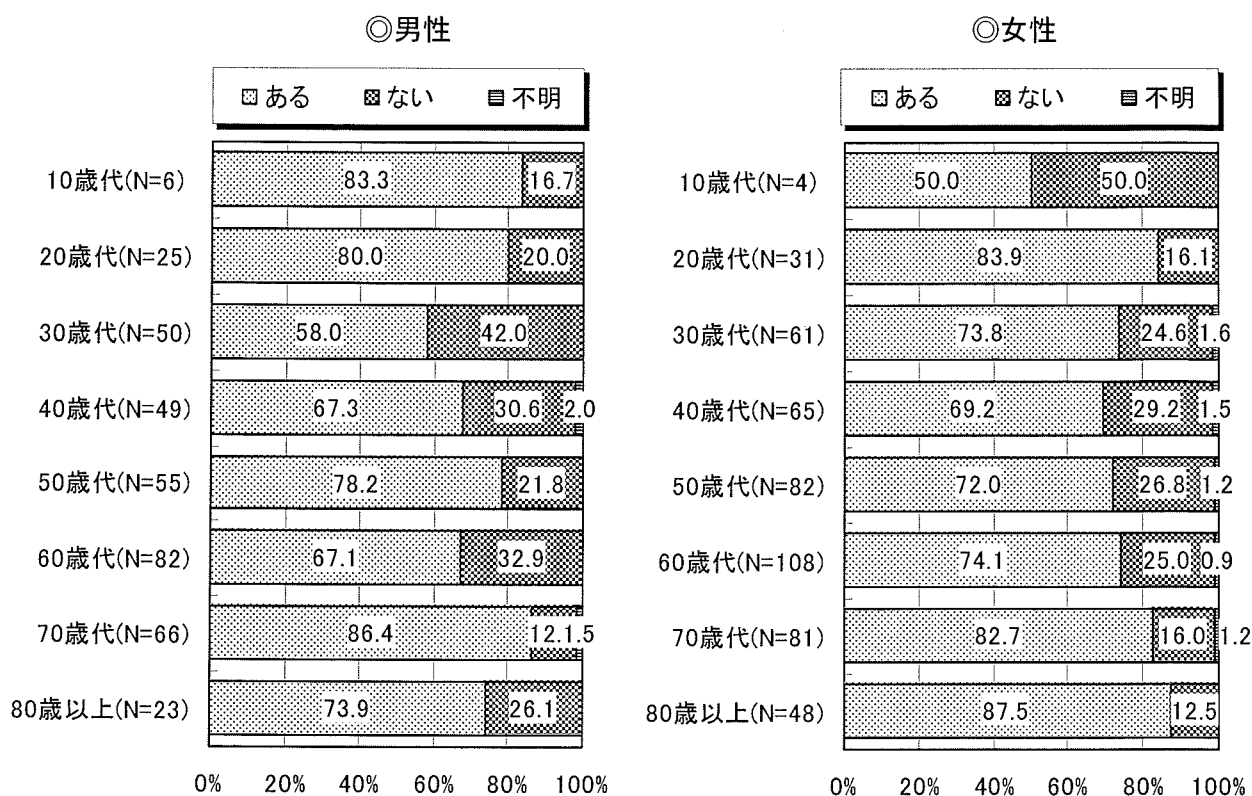
■男女別

男女別にみると、過去1年間に診療を受けたことがある人は、女性のほうがやや多い。



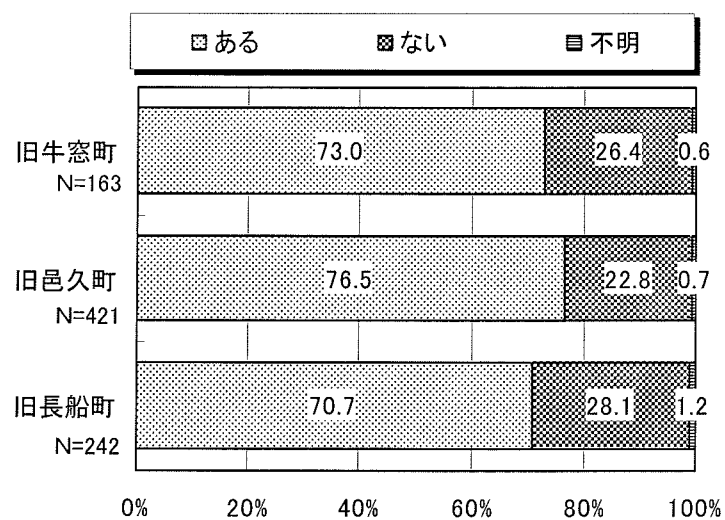
■年齢階層別（男女別）

男女別の年齢階層別にみると、男性は「20歳代」、「50歳代」「70歳代」がやや多く、女性は「20歳代」、「70歳代」「80歳以上」が多い。（10歳代は母数が少ないため参考値）



■居住地域(旧町)別

居住地域(旧町)別にみると、「旧邑久町」で「ある」の割合がやや多い。

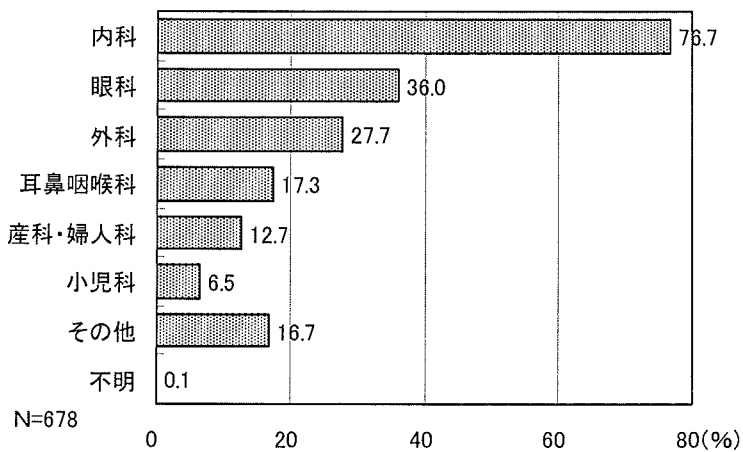


問2 問1で「1. ある」と答えた方におたずねします。診療を受けた(受けている)診療科目、病院等の場所、通院の困難さ等についてあてはまる番号を選んでください。

1. 診療科目

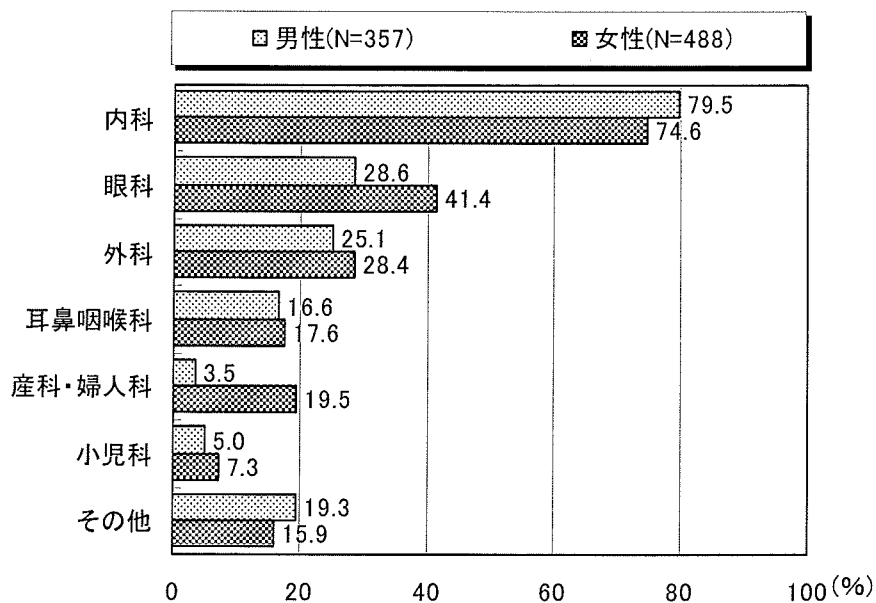
■全体

過去1年間に診療を受けたことがある人の診療科目は、「内科」が最も多く、次が「眼科」、「外科」といった順である。



■男女別

男女別にみると、女性は男性に比べて「内科」「その他」を除く診療科目の割合が多い。

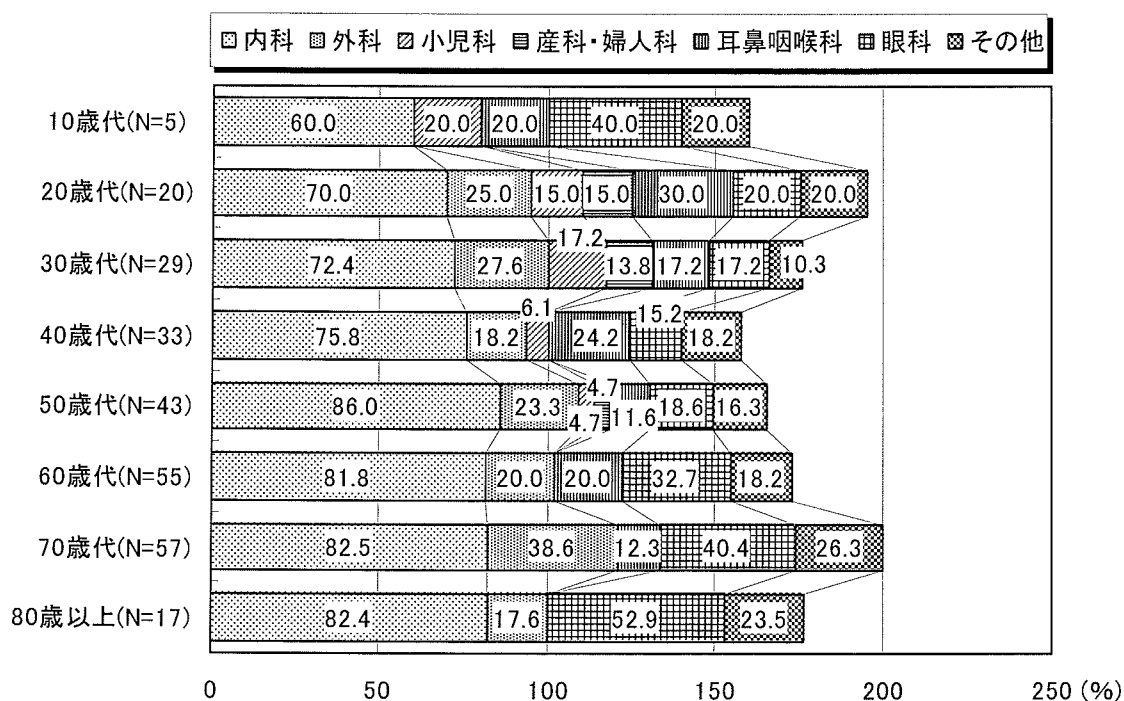


■年齢階層別（男女別）

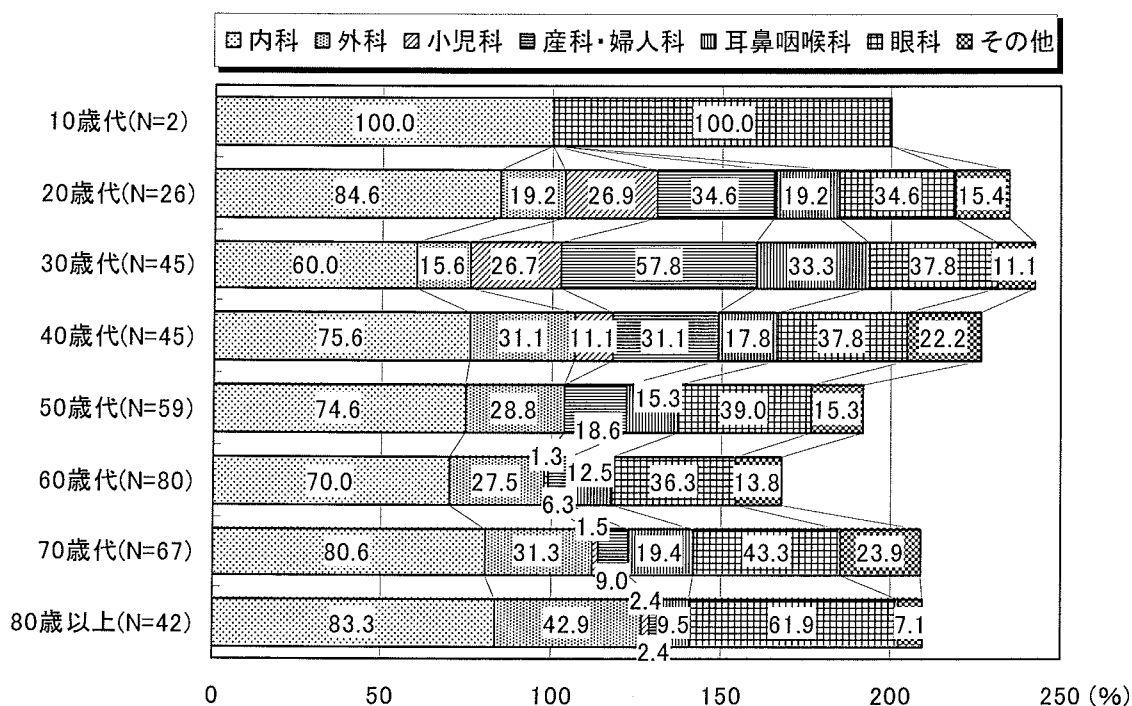
男女別の年齢階層別にみると、男性は70歳代で「外科」の割合がやや多く、また、40歳代以降、年齢が高くなるにつれて「眼科」の割合が増えている。

女性は30歳代で「産科・婦人科」の割合が多く、80歳代では「外科」及び「眼科」が他の年齢階層に比べて多くなっている。（10歳代は母数が少ないため参考値）

◎男性

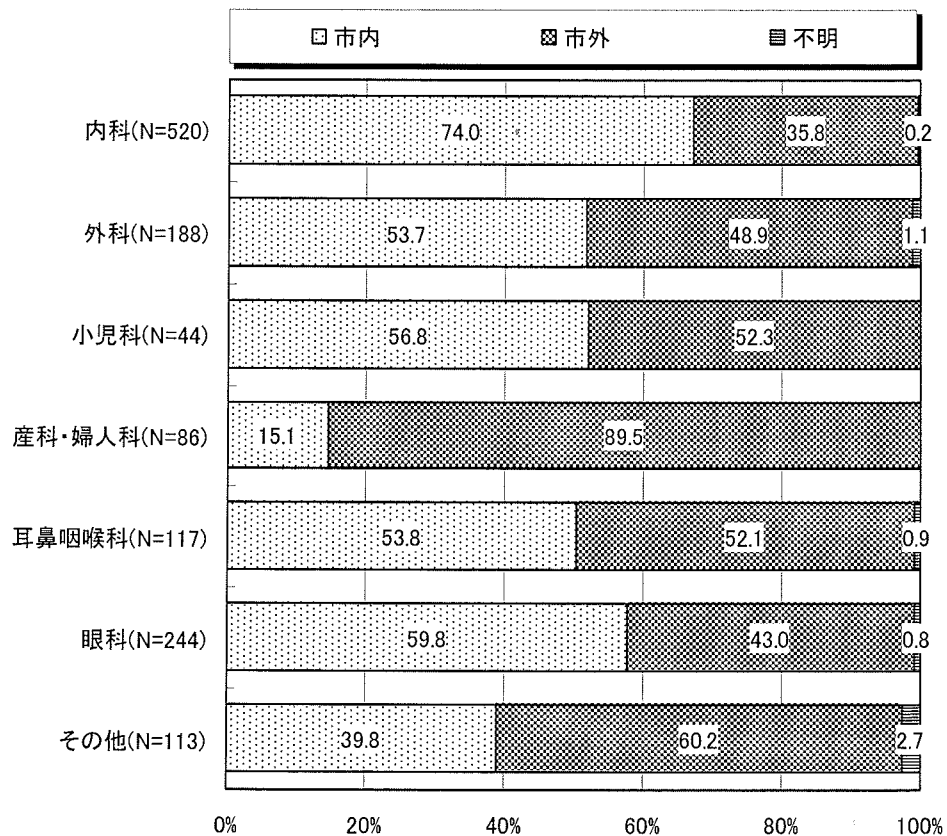


◎女性



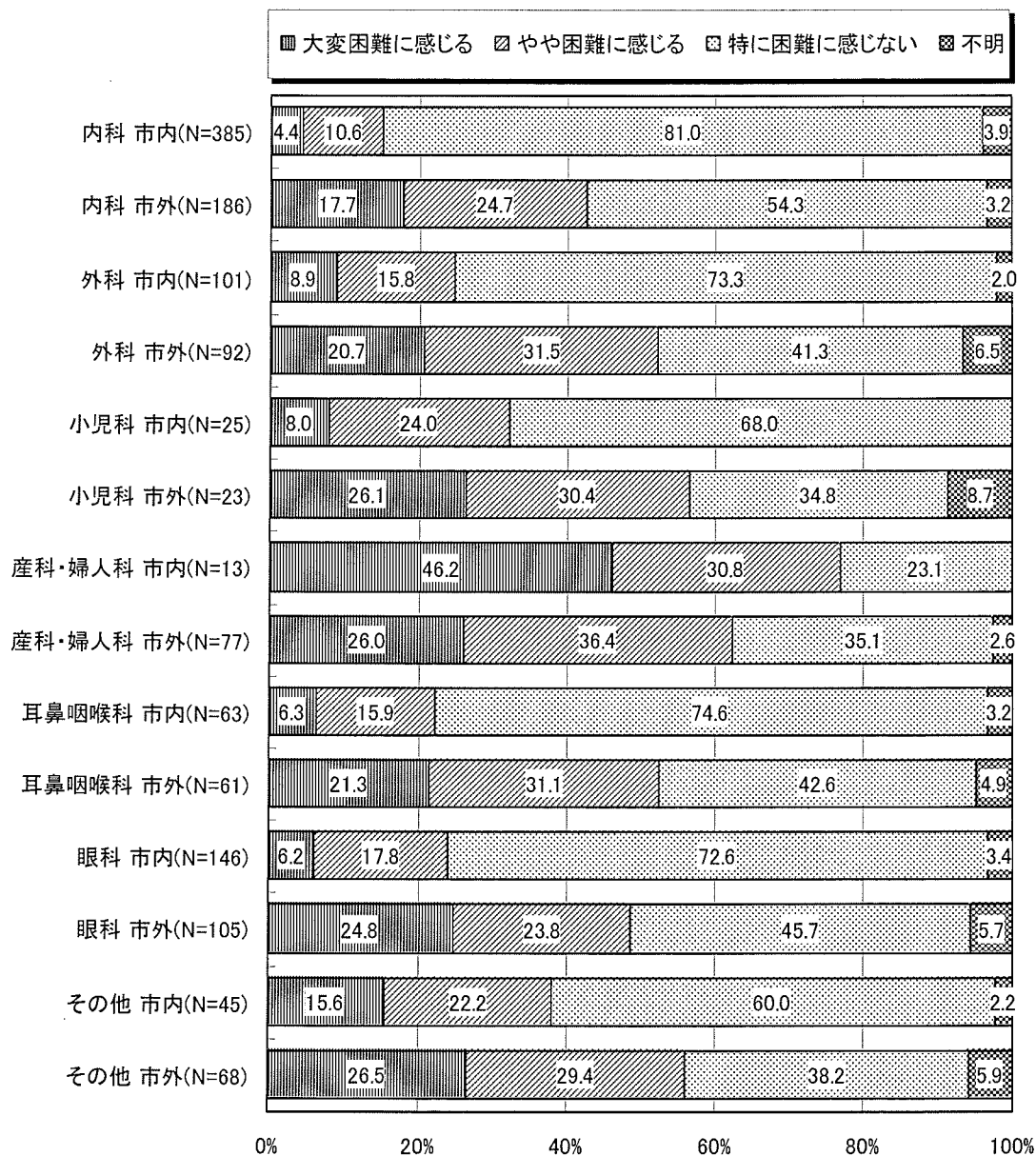
2. 病院等の場所

診療を受けた（受けている）病院等の場所を診療科目別にみると、「市内」の割合は、内科が最も多く、次が「眼科」である。一方、「市外」の割合は「産科・婦人科」が最も多い。



3. 通院（通うこと）の困難さ

病院等に通うことの困難さについて、診療科目別の市内、市外に分けてみると、通院を「大変困難を感じる」人の割合は、「産科・婦人科(市内)」が最も多く「小児科(市外)」、「産科・婦人科(市外)」、「その他(皮膚科等)(市外)」などもやや多くなっている。

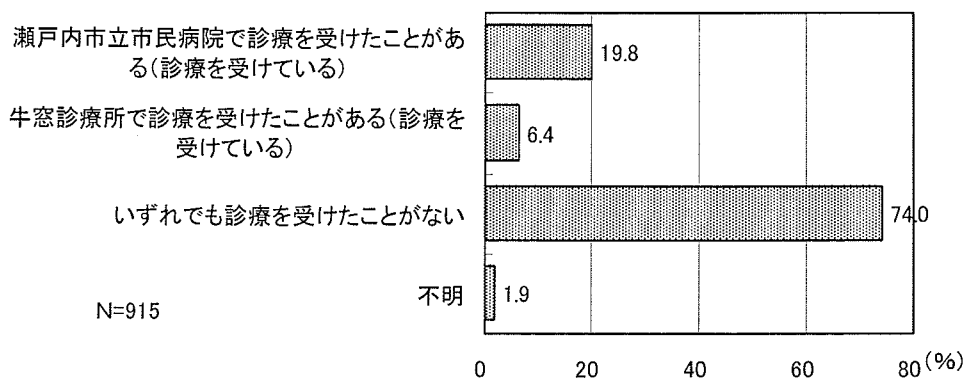


市民病院等での受療状況についておたずねします。(人間ドックや検査は含みません)

問3 《全員の方におたずねします。》あなたは、過去1年間に瀬戸内市立市民病院または牛窓診療所で診療を受けたことがありますか。(現在、通院している人を含みます)(あてはまるものすべてに○)

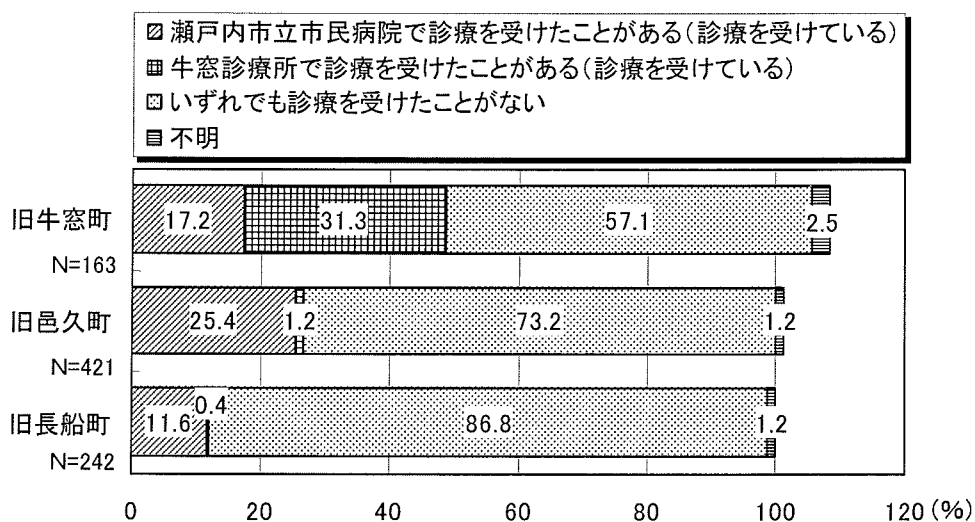
■全体

過去1年間に瀬戸内市立市民病院で診療を受けた人は19.8%、牛窓診療所で診療を受けた人は6.4%である。



■居住地域(旧町)別

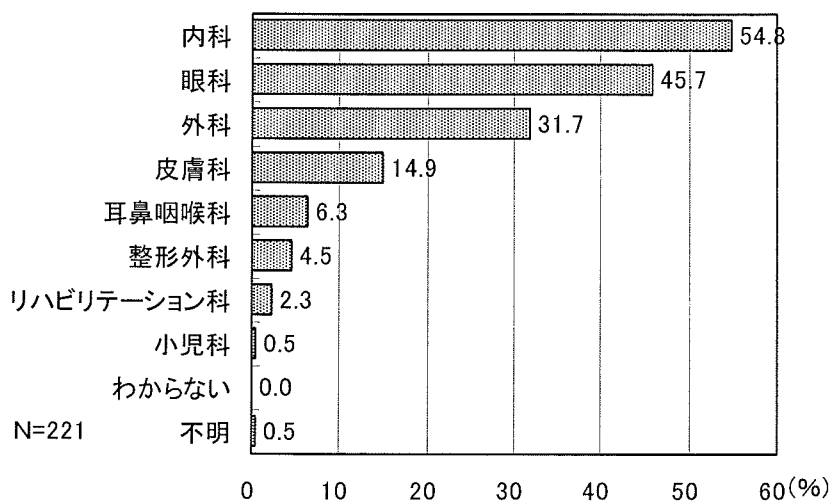
居住地域(旧町)別にみると、「瀬戸内市立市民病院で診療を受けた人」は旧牛窓町17.2%、旧邑久町25.4%、旧長船町11.6%である。また、「牛窓診療所で診療を受けた人」は旧牛窓町で31.3%である。



問4 問3で「診療を受けたことがある」（1または2）と答えた方におたずねします。診療を受けた(受けている)診療科目は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

■全体

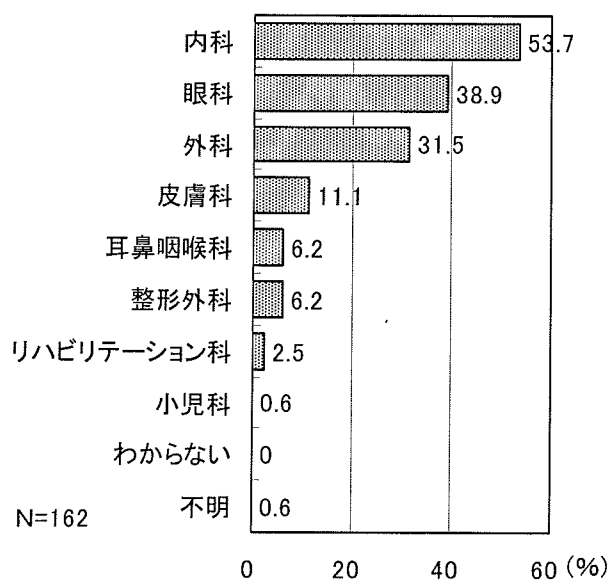
診療を受けた(受けている)診療科目では、「内科」が最も多く、次に「眼科」「外科」といった順である。



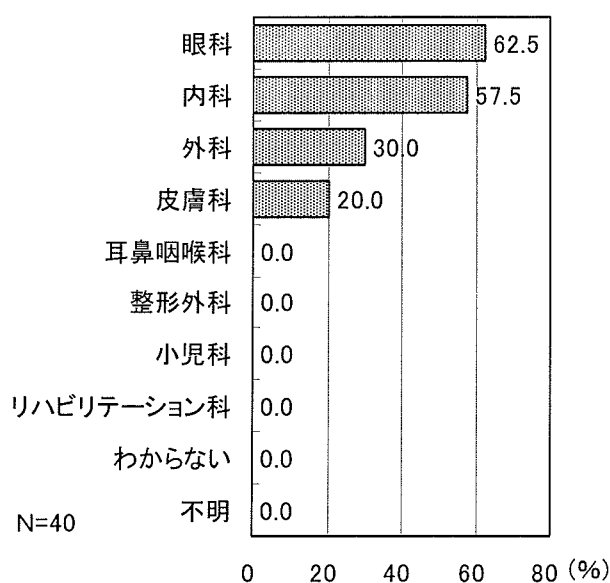
■受診施設別

受診した施設別にみると、瀬戸内市立市民病院では「内科」の割合が最も多いのに対して、牛窓診療所では「眼科」の割合が最も多い。

◎瀬戸内市立市民病院



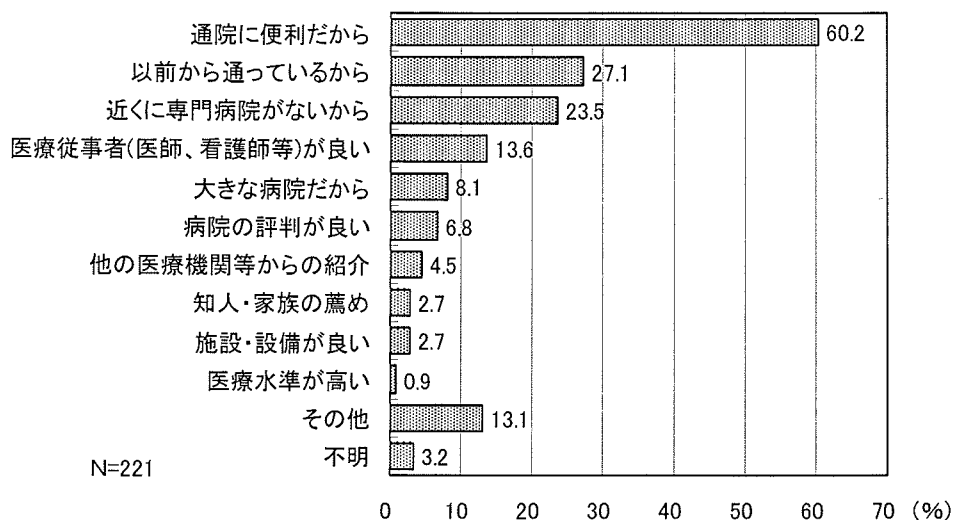
◎牛窓診療所



問5 問3で「診療を受けたことがある」（1または2）と答えた方におたずねします。診療を受けた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

■全体

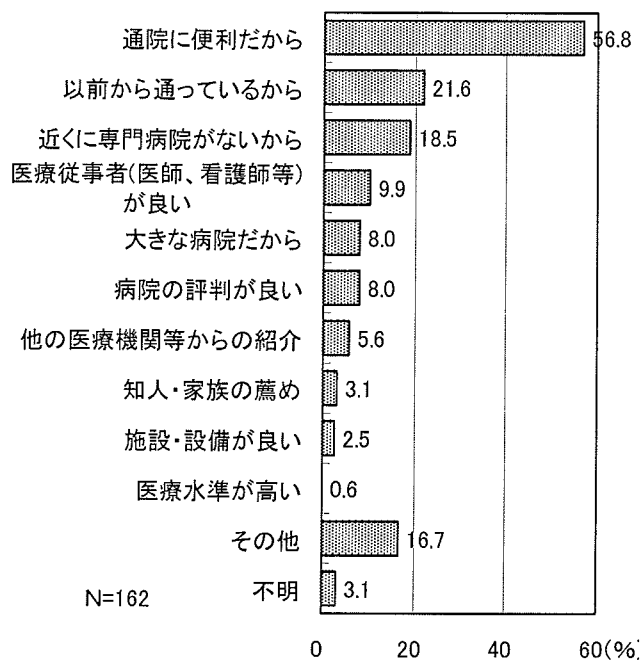
診療を受けた理由では、「通院に便利だから」が最も多く、次に「以前から通っているから」「近くに専門病院がないから」といった順になっている。



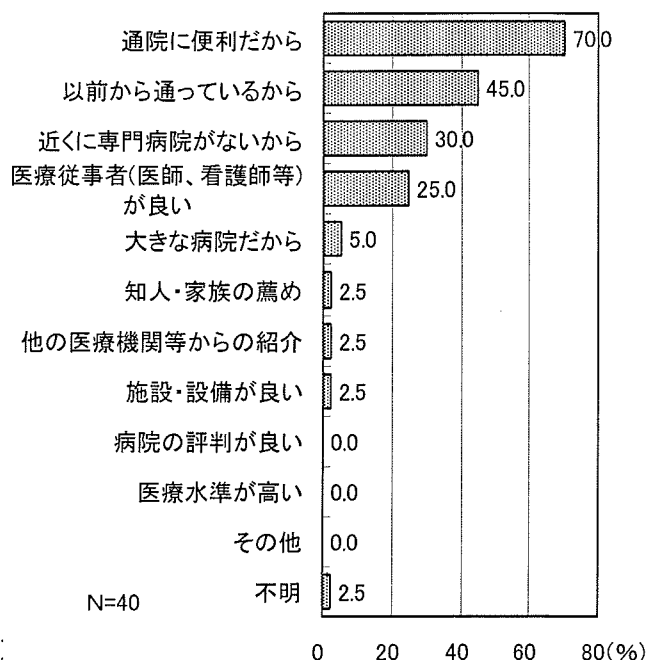
■受診施設別

受診した施設別にみると、いずれも「通院に便利だから」が最も多い。また牛窓診療所は瀬戸内市立市民病院に比べて「以前から通っているから」「近くに専門病院がないから」の割合が多い。

◎瀬戸内市立市民病院



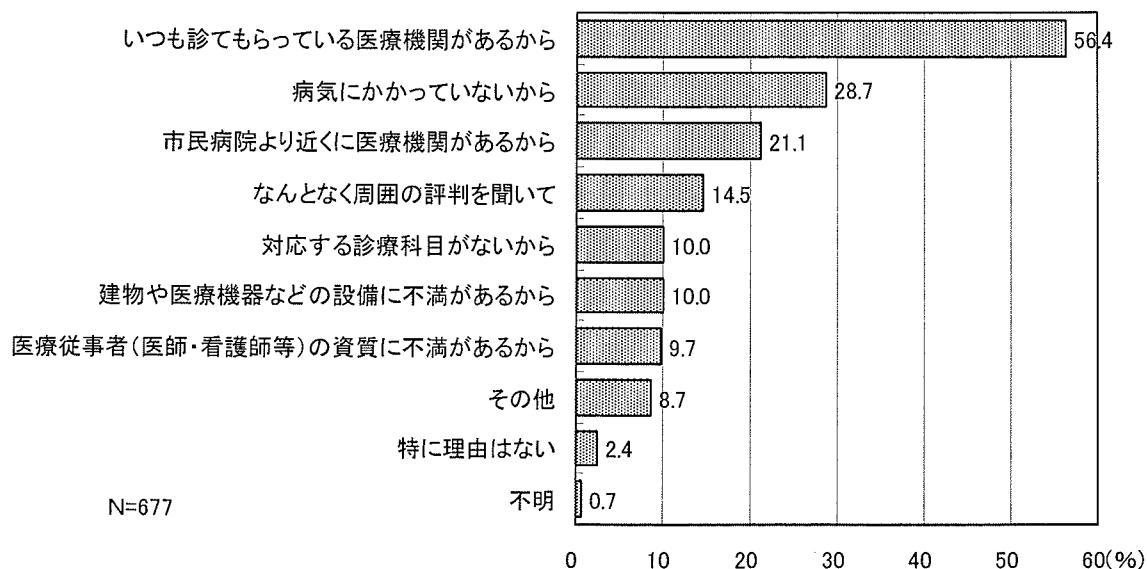
◎牛窓診療所



問6 問3で「3. いずれでも診療を受けたことがない」（市民病院でも牛窓診療所でも診療を受けたことがない。）と答えた方におたずねします。診療を受けなかった（診療を受けていない）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

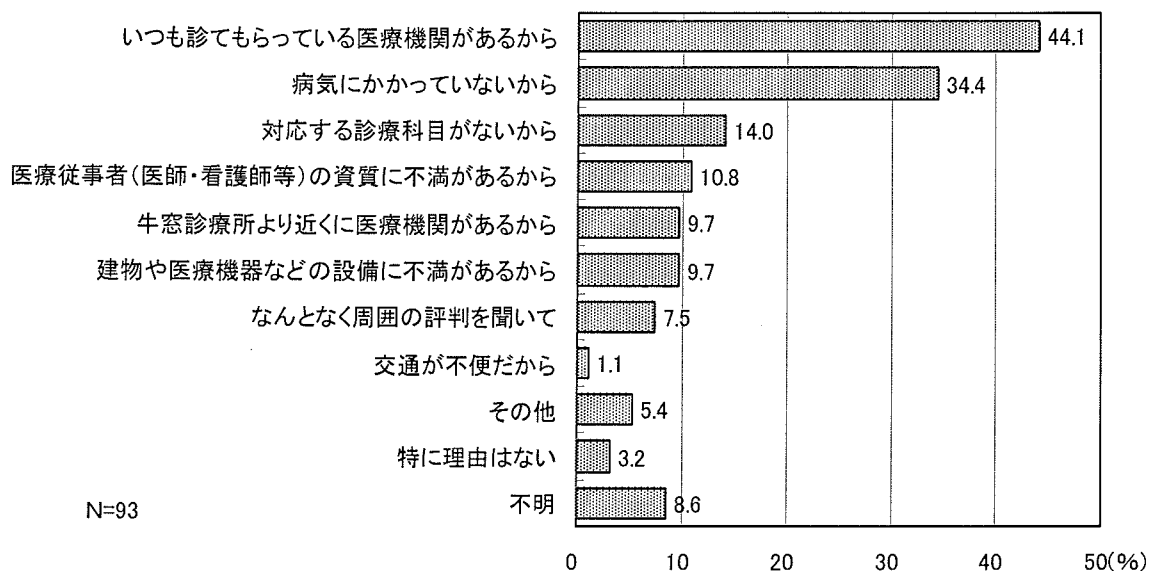
(1) 瀬戸内市立市民病院

診療を受けなかった（診療を受けていない）理由としては、「いつも診てもらっている医療機関があるから」が最も多く、次に「病気にかかっていないから」「市民病院より近くに医療機関があるから」などの順である。



(2) 牛窓診療所

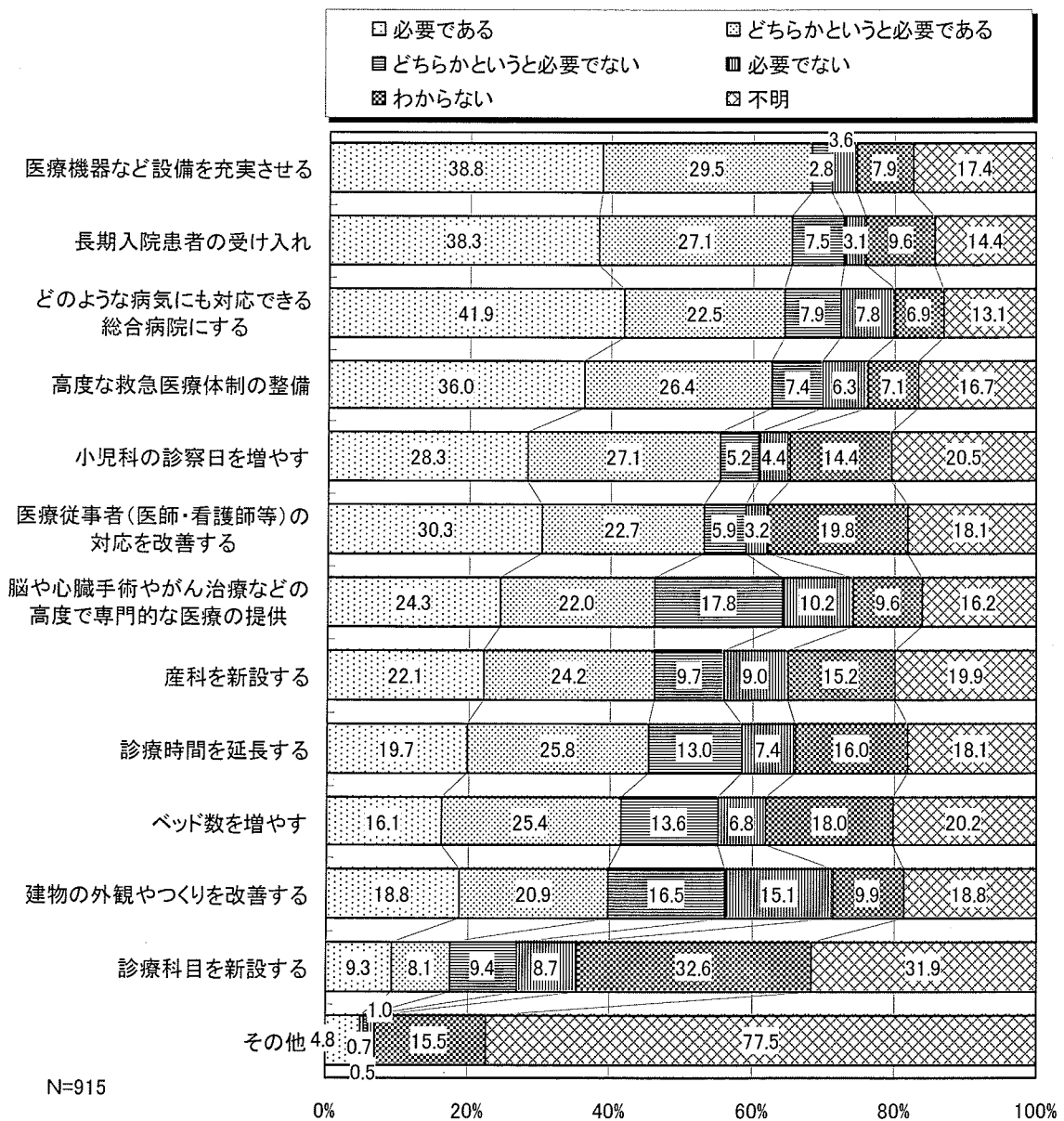
「いつも診てもらっている医療機関があるから」が最も多く、次に「病気にかかっていないから」「対応する診療科目がないから」などの順である。



現在の市民病院及び牛窓診療所についておたずねします。

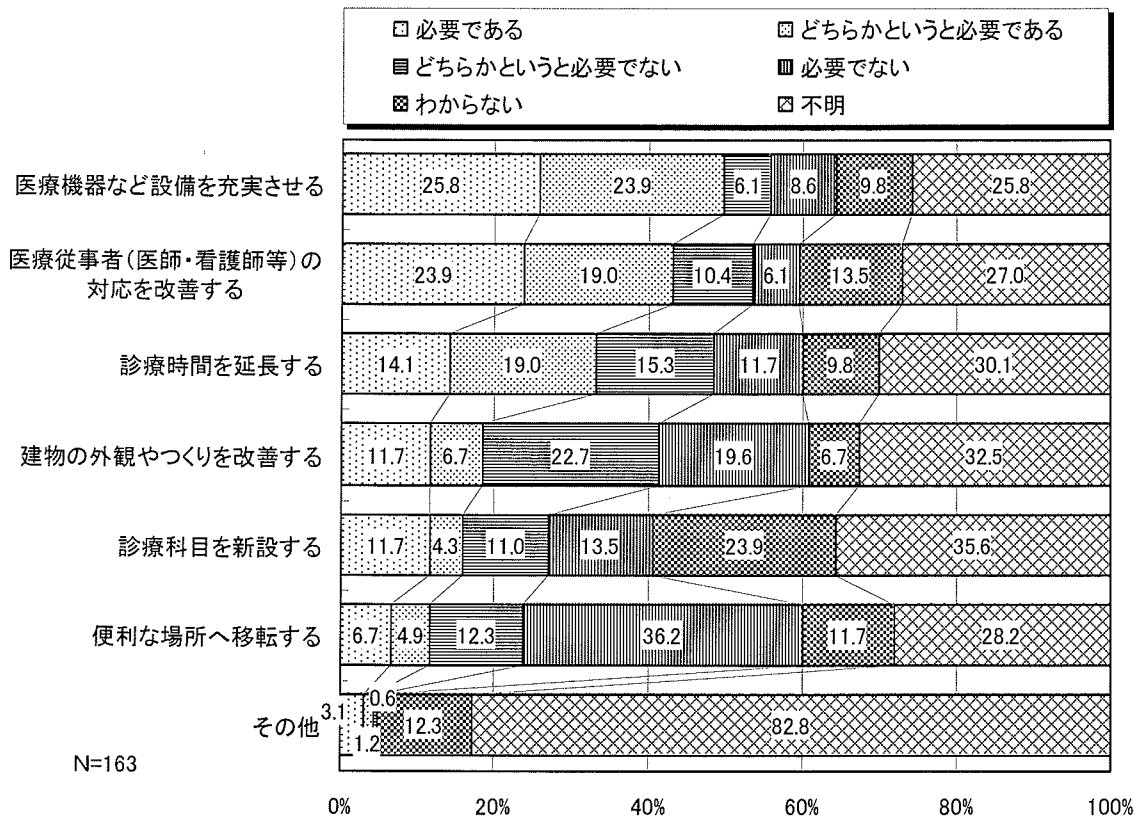
問7 《全員におたずねします。》今後、市民病院を更に改善するために何が必要だと思いますか。各項目について、あなたの考えに一番近いものを1～5の中から選んでそれぞれ1つに○をつけてください。

市民病院を更に改善するために必要と思うことについて、「必要である」及び「どちらかという必要である」を合わせた割合が多い順にみると、「医療機器など設備を充実させる」「長期入院患者の受け入れ」「どのような病気にも対応できる総合病院にする」「高度な救急医療体制の整備」「小児科の診察日を増やす」などの順となっている。



《旧牛窓町にお住まいの方のみにおたずねします。》今後、牛窓診療所を更に改善するために何が必要だと思いますか。各項目について、あなたの考えに一番近いものを1～5の中から選んでそれぞれ1つに○をつけてください。

牛窓診療所を更に改善するために必要と思うことについて、「必要である」及び「どちらかという必要である」を合わせた割合が多い順にみると、「医療機器など設備を充実させる」「医療従事者（医師・看護師等）の対応を改善する」「診療時間を延長する」などの順となっている。



公立病院のあり方等についておたずねします。

近年、多くの公立病院（市町村立病院）は、経営状況の悪化や医師不足に伴う診療体制の縮小など、経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況になっています。

瀬戸内市では、救急医療業務やへき地診療などの不採算業務を行っている瀬戸内市立市民病院及び牛窓診療所の運営のために、繰出金（補助金・出資金）を支出しています。

（参考） 平成20年度に支出した額＝約2億3千万円

財源内訳 { 地方交付税等 約1億8千万円（国から市へ交付されるお金）
 { 市 税 約5千万円

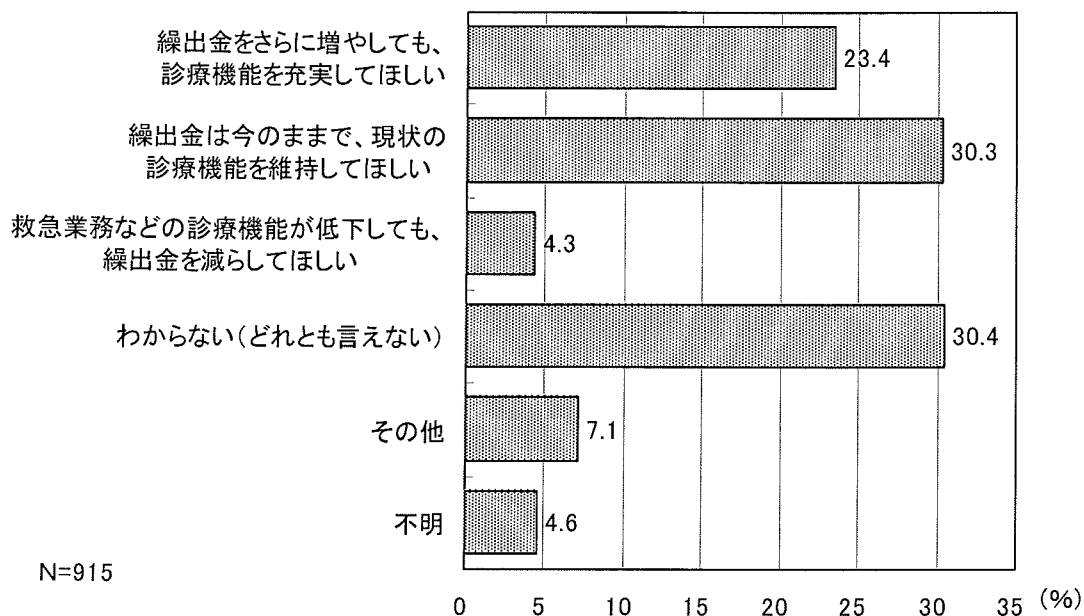
問8 《全員の方におたずねします。》

あなたは、瀬戸内市立市民病院及び牛窓診療所の診療機能がどのようになればよいと思いますか。また、選択肢の1～4以外のことがあれば、「5. その他」の欄にご記入ください。

（回答の○は1つだけ）

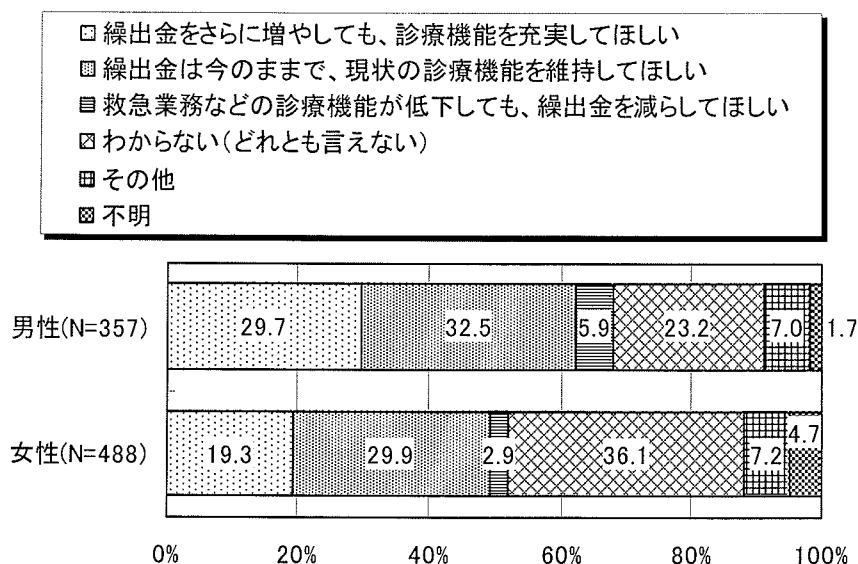
■全体

今後の瀬戸内市立市民病院及び牛窓診療所については、「繰出金は今のままで、現状の診療機能を維持してほしい」と「わからない（どれとも言えない）」がほぼ同じ割合である。また、「繰出金をさらに増やしても、診療機能を充実してほしい」という人が23.4%であるのに対して、「救急業務などの診療機能が低下しても、繰出金を減らしてほしい」という人は4.3%と少ないことから、繰出金を増やして病院の充実を図るほうがよいと考える人のほうが多いことがわかる。



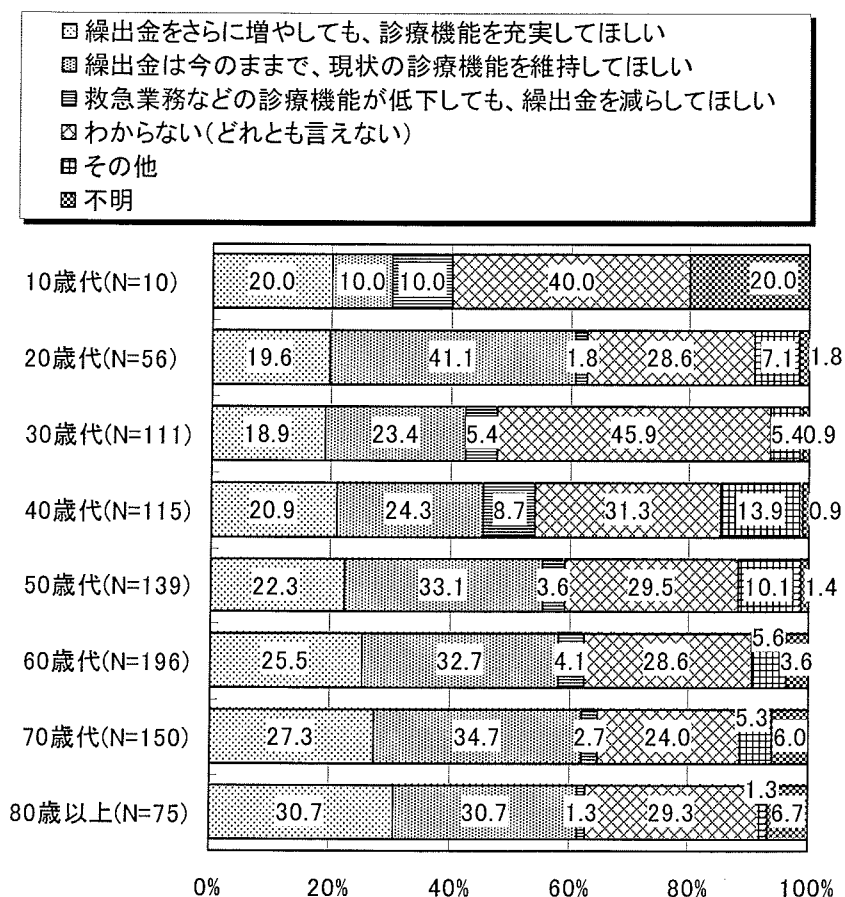
■男女別

男女別にみると、男性のほうが「繰出金をさらに増やしても、診療機能を充実してほしい」という人の割合が女性よりも多く、女性は「わからない(どれとも言えない)」が多い。



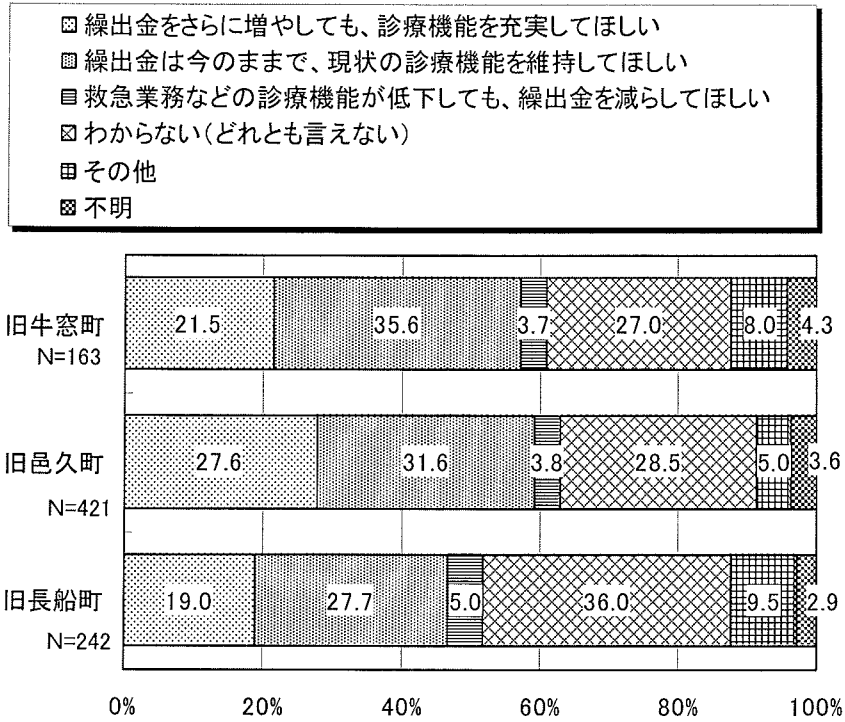
■年齢階層別

年齢階層別にみると、30歳代以降は年齢が高くなるにつれて「繰出金をさらに増やしても、診療機能を充実してほしい」という人の割合が増える傾向が見られる。



■居住地域(旧町)別

居住地域(旧町)別にみると、旧邑久町は「繰出金をさらに増やしても、診療機能を充実してほしい」という人の割合が、他よりもやや多い。



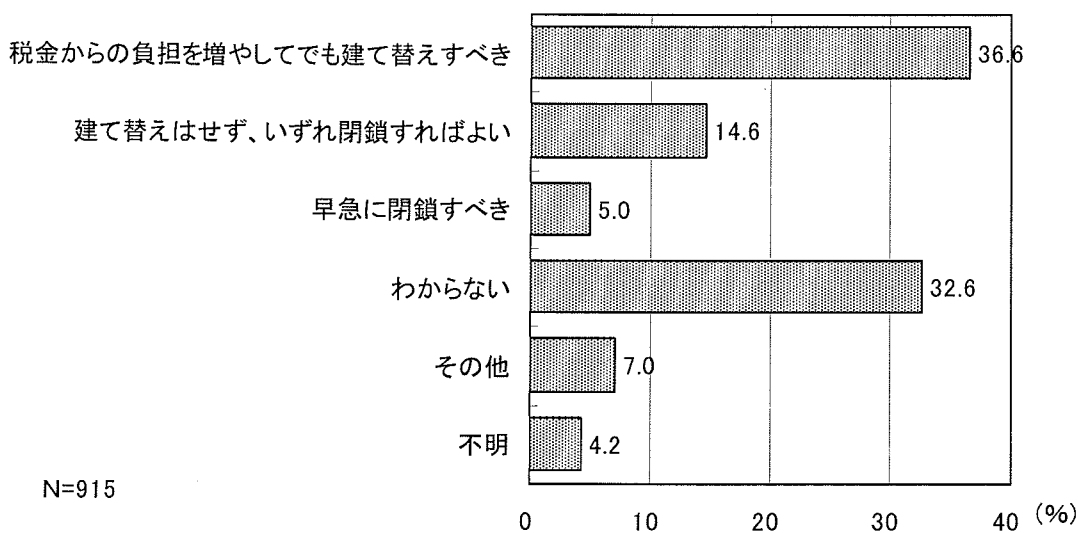
問9 《全員の方におたずねします。》

現在の瀬戸内市立市民病院は、昭和46年に建設されたもので建物や医療設備の老朽化が進み、建て替えをしない場合には、耐震上の問題や医師の確保が困難になるなどにより、閉鎖される可能性があります。

一方、現在と同じ機能を維持するために建て替えをする場合は、市税からの市民病院への繰出金が、年間約4,700万円（約33年間）増加することになります。このような状況や公立病院に求める役割等を踏まえて、あなたは瀬戸内市立市民病院の今後についてどのようにすればよいと思いますか。（回答の○は1つだけ）

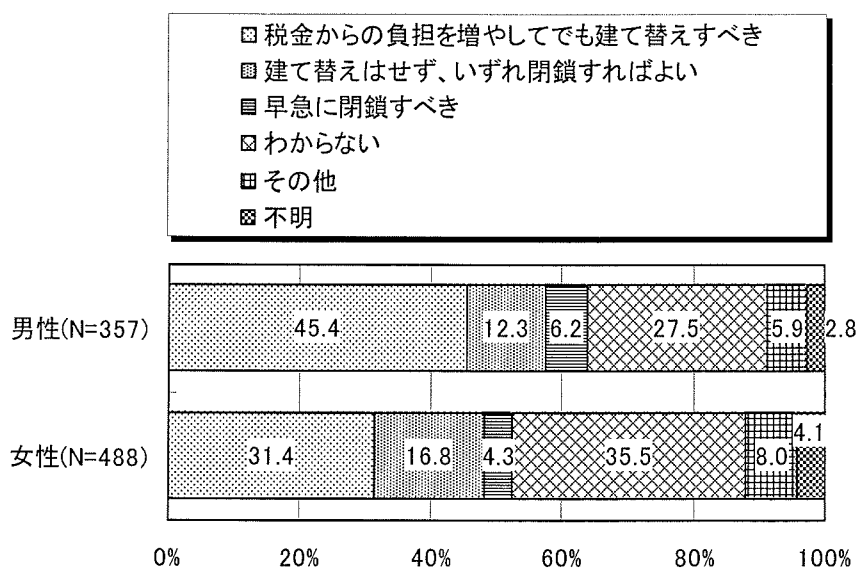
■全体

建て替えの必要性とそれに伴う繰出金の増額を踏まえた上での今後の市民病院のあり方については、「税金からの負担を増やしても建て替えすべき」という人が36.6%であるのに対して、「建て替えはせず、いずれ閉鎖すればよい」14.6%、「早急に閉鎖すべき」5.0%となっている。また、「わからない」という人も比較的多い。



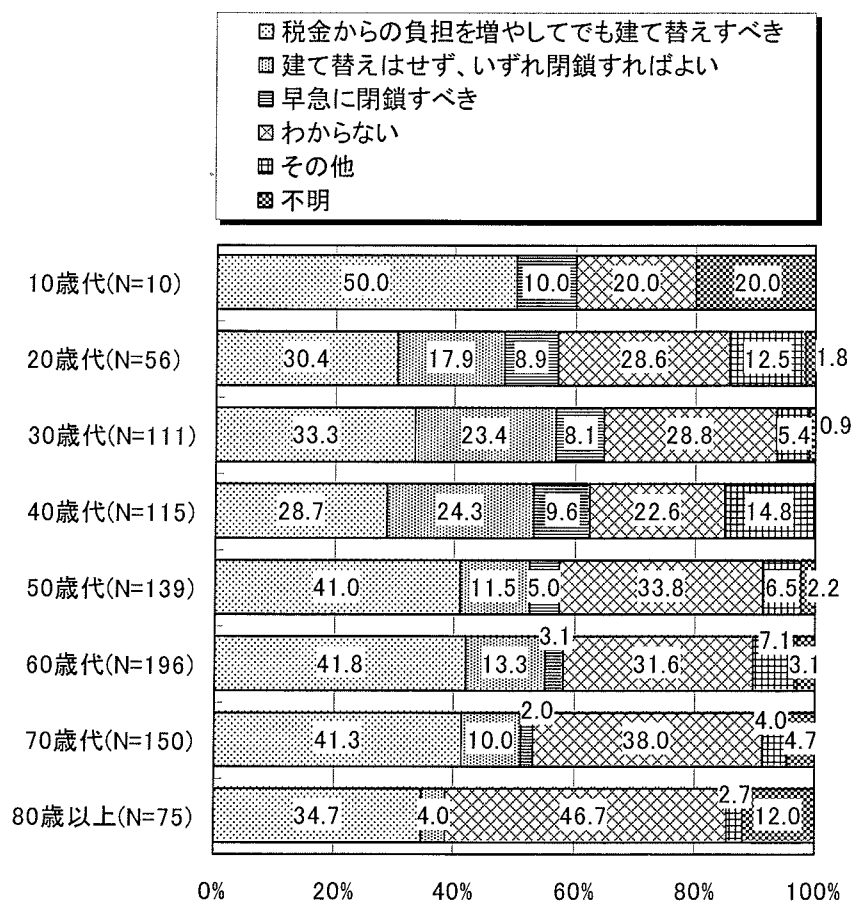
■男女別

男女別にみると、男性のほうが「税金からの負担を増やしてでも建て替えすべき」という人の割合が女性よりも多く、女性は「わからない」が多い。



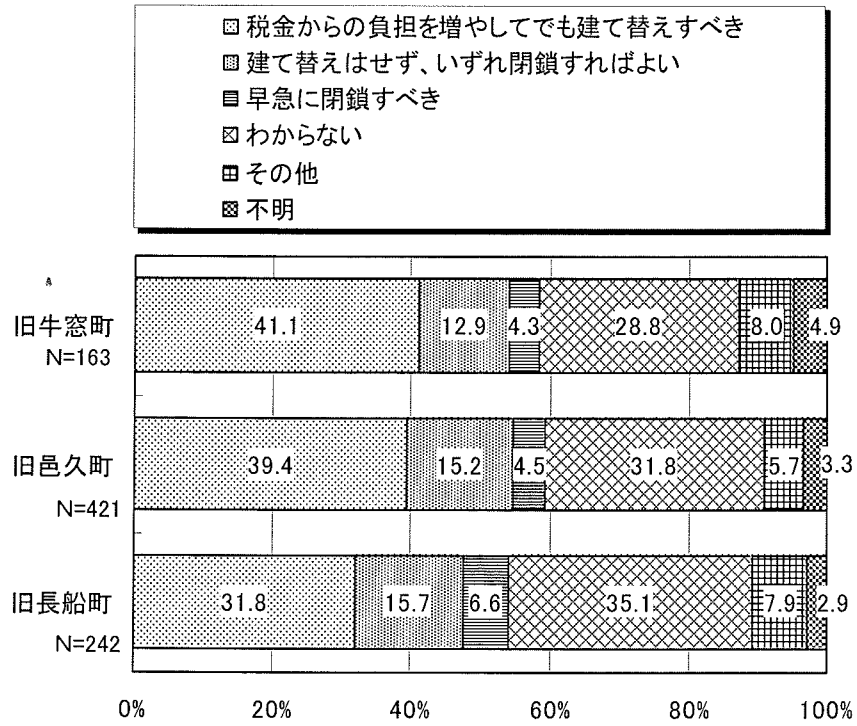
■年齢階層別

年齢階層別にみると、「建て替えはせず、いずれ閉鎖すればよい」及び「早急に閉鎖すべき」の割合は20～40歳代に多く、50歳代以降は減る傾向がみられる。



■ 居住地域 (旧町) 別

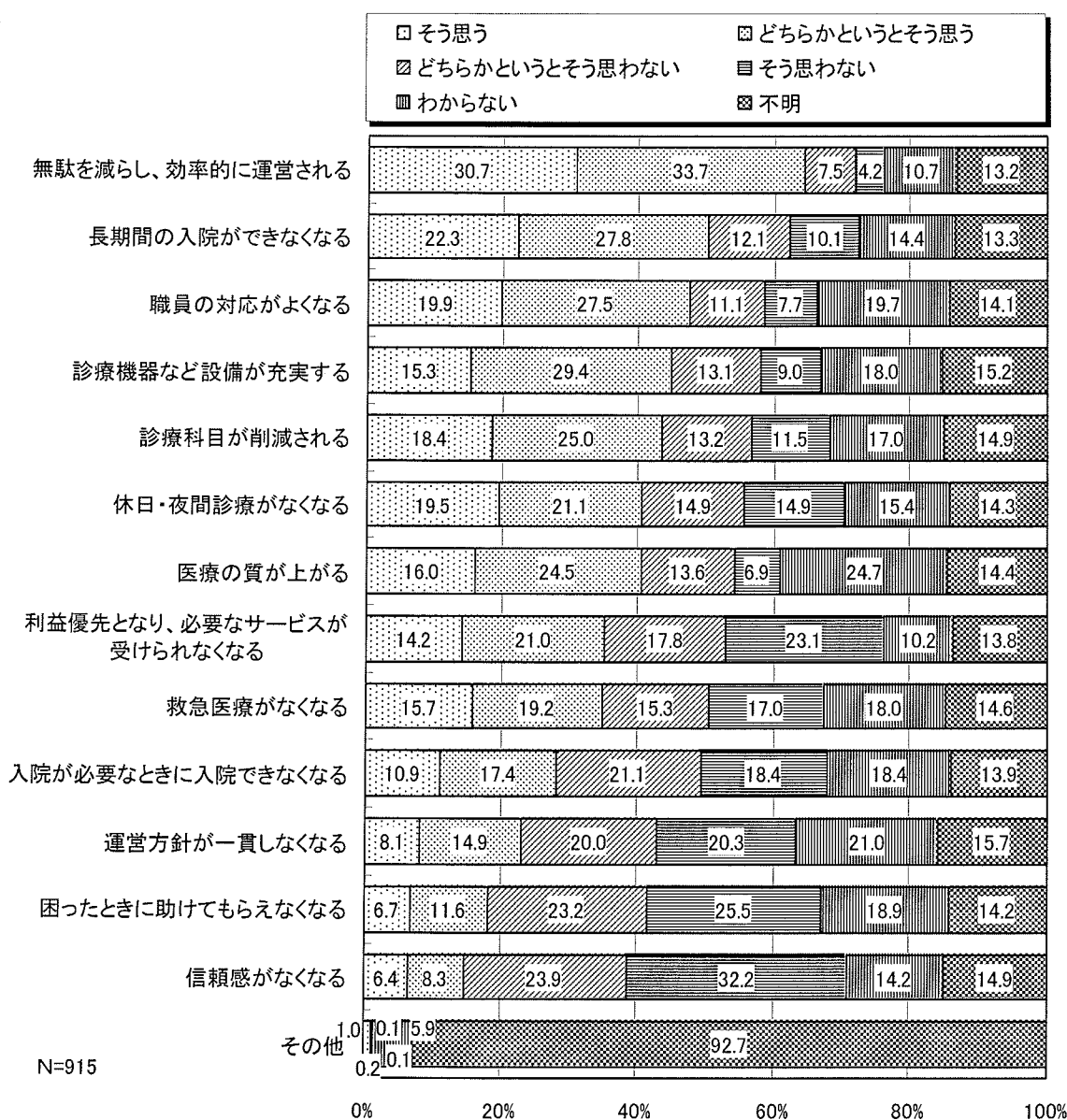
居住地域 (旧町) 別にみると、「税金からの負担を増やしてでも建て替えすべき」という人の割合は、旧牛窓町が最も多い。



問10 《全員の方におたずねします。》

公立病院には、市（行政）が直接運営するものと、市（行政）から民間に委託して運営するものがありますが、民間が運営することとなった場合、あなたはどのようになると思いますか。各項目について、あなたの考えに一番近いものを1～5の中から選んでそれぞれ1つに○をつけてください。

公立病院を民間が運営する場合に予想されることについて、「そう思う」及び「どちらかというと思う」を合わせた割合が多いものを見ると、プラスの効果として「無駄を減らし、効率的に運営される」「職員の対応がよくなる」「診療機器など設備が充実する」などが挙がる一方で、「長期間の入院ができなくなる」「診療科目が削減される」といった不安を訴える人も比較的多い。

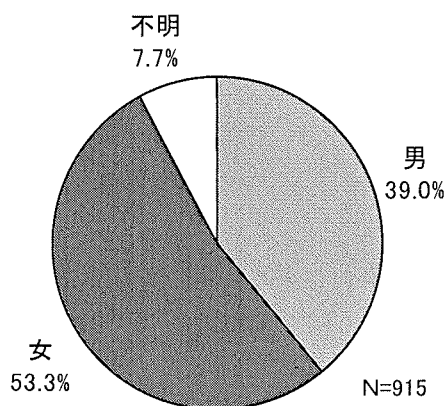


最後に、あなたご自身のことについておたずねします。

問 1 1 あなた自身のことについて、それぞれ項目ごとにあてはまる番号を選んで○をつけてください。(それぞれ1つずつ)

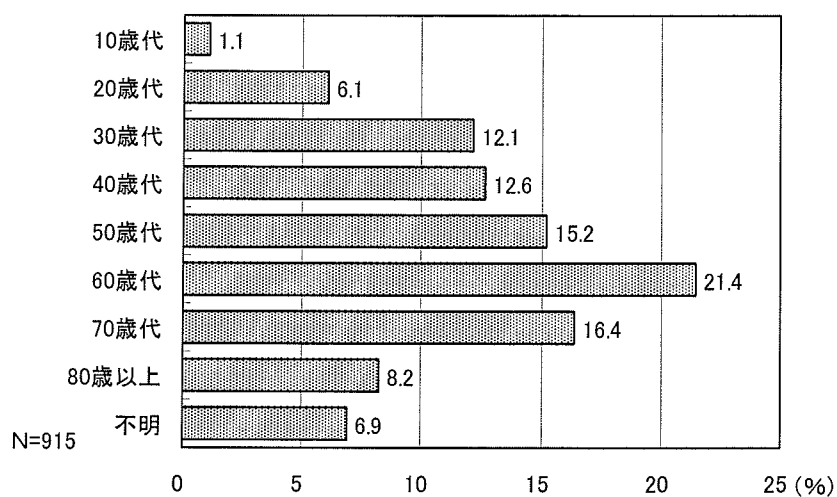
(1) 性別

回答者の性別は、男 39.0%、女 53.3%で、女性がやや多い。



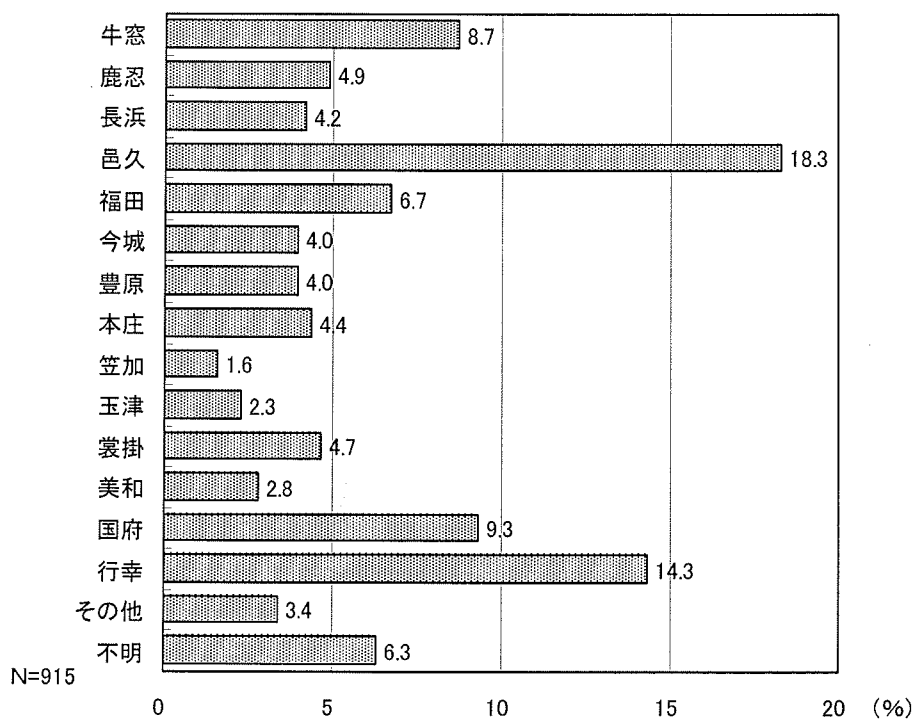
(2) 年齢

回答者の年齢は、60歳代が最も多く、次いで「70歳代」「50歳代」などの順である。



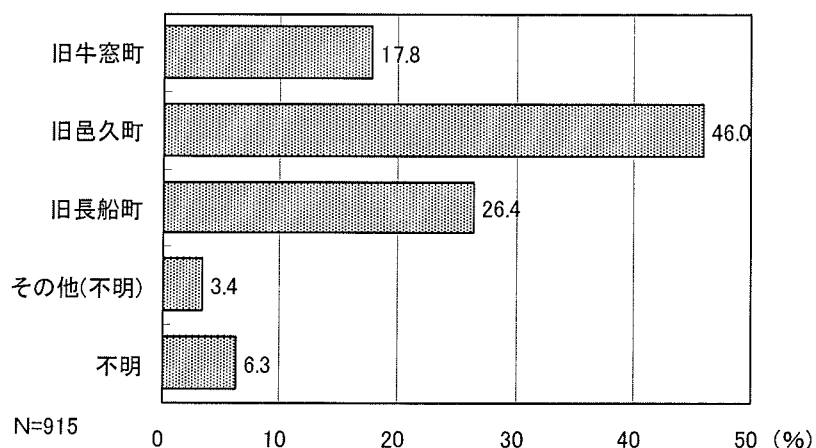
(3) 居住地域

居住地域別では、「邑久」が最も多く、次いで「行幸」「国府」「牛窓」などの順となっている。



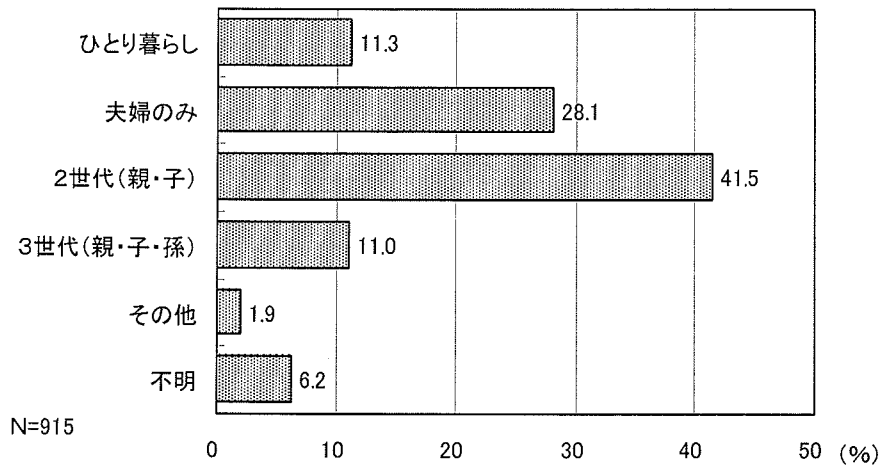
■旧町区分

旧町区分では、旧邑久町 46.0%、旧長船町 26.4%、旧牛窓町 17.8%となっている。



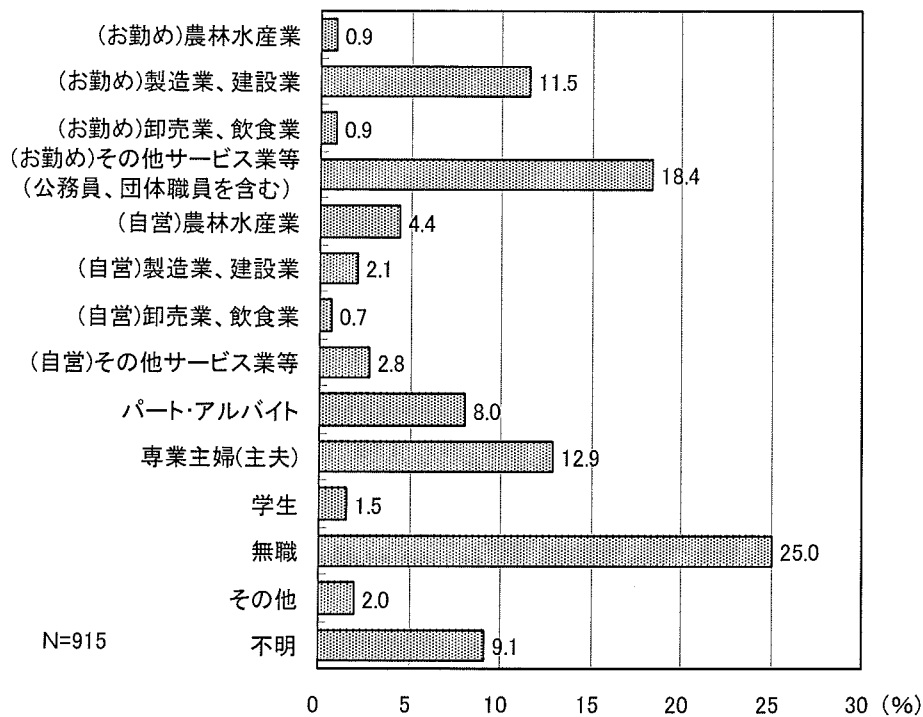
(4) 家族構成

家族構成をみると、「2世代（親・子）」が最も多く、次が「夫婦のみ」である。「ひとり暮らし」は11.3%である。



(5) 職業等

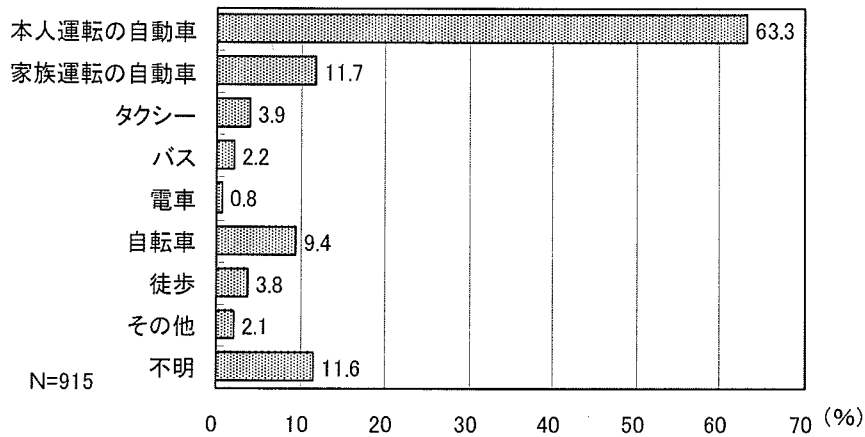
職業別では、「無職」が最も多く、次いで「(お勤め)その他サービス業等（公務員、団体職員を含む）」「専業主婦(主夫)」などの順である。



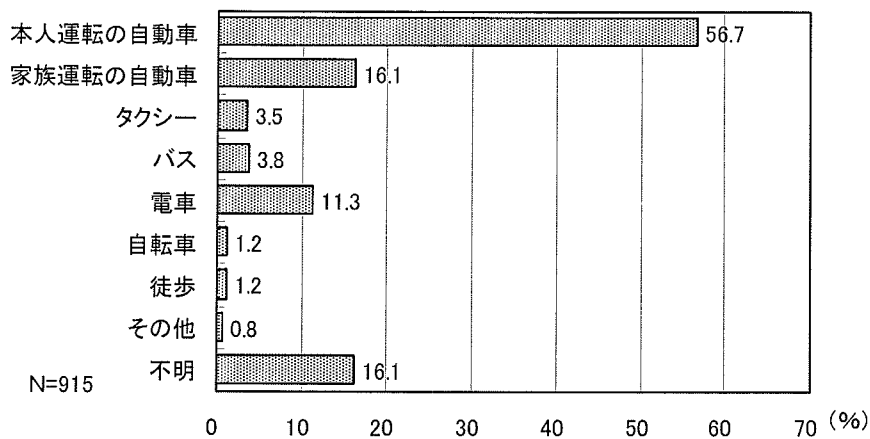
(6) 主な移動手段

主な移動手段をみると、市内、市外ともに「本人運転の自動車」が最も多い。また、市内では「家族運転の自動車」や「自転車」、市外では「家族運転の自動車」や「電車」も比較的多い。

◎市内



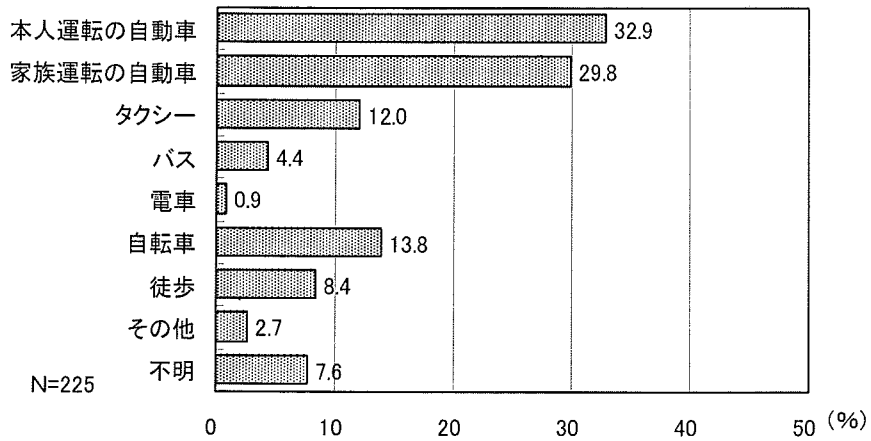
◎市外



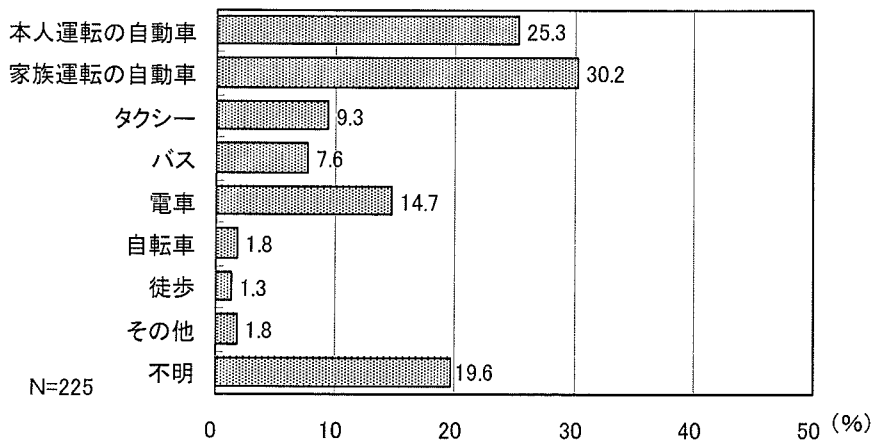
■高齢者(70歳以上)の移動手段

70歳以上の高齢者の移動手段をみると、市内、市外ともに「本人運転の自動車」や「家族運転の自動車」が多くなっている。また、市内では「自転車」及び「タクシー」、市外では「電車」「タクシー」も比較的多い。

◎市内



◎市外



第3章 自由意見の主な項目

1. 現状について

- (1) 施設・設備の改善を求める意見
- (2) 医療スタッフの資質の向上を求める意見
- (3) 職員教育の充実を求める意見
- (4) 診療日数の増加を求める意見
- (5) 診療科目の新設を求める意見
- (6) 休日・夜間診療を求める意見
- (7) 救急体制の充実を求める意見
- (8) 経営改善を求める意見
- (9) 利便性の向上を求める意見

2. 今後について

- (1) 直営の施設として存続を希望する意見と民間での経営を希望する意見
- (2) 存続を希望しない意見と廃止を求める意見
- (3) 立地場所の移転を希望する意見
- (4) 高度医療施設を希望する意見と高度の医療を希望しない意見
- (5) 高齢者の利用のしやすさを求める意見
- (6) 建て替えに反対する意見
- (7) 牛窓診療所に入院施設を求める意見
- (8) 牛窓診療所の移転を求める意見

瀬戸内市立市民病院及び牛窓診療所に関する アンケート

瀬戸内市にお住まいの皆様へ

市民の皆様には日頃から市政に対し、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、瀬戸内市では、皆様のお声を瀬戸内市立市民病院及び牛窓診療所の運営に活かすことを目的として、瀬戸内市内の皆様のお受療動向と瀬戸内市立市民病院及び牛窓診療所に関するアンケートを実施させていただくことになりました。このアンケートは、平成21年11月1日現在、瀬戸内市にお住まいの18歳以上の方から無作為で抽出された2,000人の方をお願いしています。

なお、このアンケートは無記名で回答していただくもので、個人の秘密が漏れたり、他の用途に使われるなどのご迷惑をおかけすることは一切ございません。

今後の病院等の運営を検討する上で重要なアンケートです。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年11月

瀬戸内市長 武久 顕也

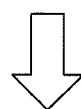
ご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人がお答えください。
2. 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。その際、「○は1つだけ」や「あてはまるものすべてに○」などの指示に従ってください。
3. 「その他」にあてはまる場合は、番号を○で囲み、さらに()内にその内容を具体的に記入してください。
4. ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル又は万年筆でお願いします。
5. ご回答が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手はいりません）に入れて、11月30日（月）までにポストに投函してください。
6. このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

瀬戸内市 企画財政部政策調整室 電話：0869-22-1113
FAX：0869-22-3304



返送の際は、この線にそって三つ折りに
して封筒にお入れください。



瀬戸内市立市民病院の概要

診療科目

内科 外科 耳鼻咽喉科 整形外科 皮膚科 小児科
リハビリテーション科

外来診療日

月曜日～金曜日

入院設備

110床（一般）

医師・看護師数

医師7人 看護師42人

牛窓診療所の概要

診療科目

内科 外科 眼科 皮膚科

外来診療日

月曜日～金曜日

医師・看護師数

医師1人 看護師2人

医療機関での受療についておたずねします。
(人間ドックや検査は含みません。)

問1 あなたは、過去1年間に医院・診療所や病院などの医療機関（歯科を除く。）で診療を受けたことがありますか。（現在、通院している人を含みます）（回答の○は1つだけ）

1. ある → 問2へ

2. ない → 問3へ

問2 問1で「1. ある」と答えた方におたずねします。診療を受けた（受けている）診療科目、病院等の場所、通院の困難さ等についてあてはまる番号を選んでください。

診療科目 (受けたものすべてに○)		医療機関の 場 所	通院（通う）ことの困難さ		
			大変困難に 感じる	やや困難に 感じる	特に困難に 感じない
記載例	⑧ ○○科	① 市内	1	2	③
		② 市外	①	2	3
1. 内科	1. 市内	1	2	3	
	2. 市外	1	2	3	
2. 外科	1. 市内	1	2	3	
	2. 市外	1	2	3	
3. 小児科	1. 市内	1	2	3	
	2. 市外	1	2	3	
4. 産科・婦人科	1. 市内	1	2	3	
	2. 市外	1	2	3	
5. 耳鼻咽喉科	1. 市内	1	2	3	
	2. 市外	1	2	3	
6. 眼科	1. 市内	1	2	3	
	2. 市外	1	2	3	
7. その他 ()	1. 市内	1	2	3	
	2. 市外	1	2	3	

問6 問3で「3. いずれでも診療を受けたことがない」(市民病院でも牛窓診療所でも診療を受けたことがない。)と答えた方におたずねします。診療を受けなかった(診療を受けていない)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

<p>瀬戸内市立 市民病院</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病気にかかっていないから 2. いつも診てもらっている医療機関があるから 3. 市民病院より近くに医療機関があるから 4. 対応する診療科目がないから 5. 建物や医療機器などの設備に不満があるから 6. 医療従事者(医師・看護師等)の資質に不満があるから 7. なんとなく周囲の評判を聞いて 8. その他() 9. 特に理由はない
<p>牛窓診療所</p>	<p>《旧牛窓町にお住まいの方のみお答えください》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病気にかかっていないから 2. いつも診てもらっている医療機関があるから 3. 牛窓療養所より近くに医療機関があるから 4. 対応する診療科目がないから 5. 建物や医療機器などの設備に不満があるから 6. 医療従事者(医師・看護師等)の資質に不満があるから 7. なんとなく周囲の評判を聞いて 8. 交通が不便だから 9. その他() 10. 特に理由はない

現在の市民病院及び牛窓診療所についておたずねします。

問7 《全員におたずねします。》今後、市民病院を更に改善するために何が必要だと思えますか。各項目について、あなたの考えに一番近いものを1～5の中から選んでそれぞれ1つに○をつけてください。

瀬戸内市立市民病院を更に改善するため		必要である	どちらかという 必要である	どちらかという 必要でない	必要でない	わからない
記載例	〇〇を増やす	1	②	3	4	5
1.	高度な救急医療体制の整備	1	2	3	4	5
2.	脳や心臓手術やがん治療などの高度で専門的な医療の提供	1	2	3	4	5
3.	長期入院患者の受け入れ	1	2	3	4	5
4.	産科を新設する	1	2	3	4	5
5.	小児科の診察日を増やす	1	2	3	4	5
6.	どのような病気にも対応できる総合病院にする	1	2	3	4	5
7.	建物の外観やつくりを改善する	1	2	3	4	5
8.	ベッド数を増やす	1	2	3	4	5
9.	医療機器など設備を充実させる	1	2	3	4	5
10.	医療従事者（医師・看護師等）の対応を改善する	1	2	3	4	5
11.	診療時間を延長する	1	2	3	4	5
12.	診療科目を新設する (具体的に：)	1	2	3	4	5
13.	その他 ()	1	2	3	4	5

《旧牛窓町にお住まいの方のみにおたずねします。》今後、牛窓診療所を更に改善するために何が必要だと思いますか。各項目について、あなたの考えに一番近いものを1～5の中から選んでそれぞれ1つに○をつけてください。

牛窓診療所を更に改善するため		必要である	どちらかという 必要である	どちらかという 必要でない	必要でない	わからない
記載例	〇〇を増やす	1	②	3	4	5
1.	建物の外観やつくりを改善する	1	2	3	4	5
2.	医療機器など設備を充実させる	1	2	3	4	5
3.	医療従事者（医師・看護師等）の対応を改善する	1	2	3	4	5
4.	診療時間を延長する	1	2	3	4	5
5.	診療科目を新設する (具体的に：)	1	2	3	4	5
6.	便利な場所へ移転する	1	2	3	4	5
7.	その他 ()	1	2	3	4	5

問10 《全員の方におたずねします。》

公立病院には、市（行政）が直接運営するものと、市（行政）から民間に委託して運営するものがありますが、民間が運営することとなった場合、あなたはどのようになると思いますか。各項目について、あなたの考えに一番近いものを1～5の中から選んでそれぞれ1つに○をつけてください。

公立病院を民間に任せると		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない
記載例	〇〇〇になる	1	2	3	4	5
1.	利益優先となり、必要なサービスが受けられなくなる	1	2	3	4	5
2.	長期間の入院ができなくなる	1	2	3	4	5
3.	無駄を減らし、効率的に運営される	1	2	3	4	5
4.	運営方針が一貫しなくなる	1	2	3	4	5
5.	救急医療がなくなる	1	2	3	4	5
6.	休日・夜間診療がなくなる	1	2	3	4	5
7.	診療科目が削減される	1	2	3	4	5
8.	診療機器など設備が充実する	1	2	3	4	5
9.	入院が必要なときに入院できなくなる	1	2	3	4	5
10.	信頼感がなくなる	1	2	3	4	5
11.	職員の対応がよくなる	1	2	3	4	5
12.	困ったときに助けてもらえなくなる	1	2	3	4	5
13.	医療の質が上がる	1	2	3	4	5
14.	その他 ()	1	2	3	4	5

